

AWARDS

OIOS'98 GRAND CHAMPION
Paph. rothschildianum 'Furuyama'



OKINAWA INTERNATIONAL ORCHID SHOW '99

沖縄国際洋蘭博覧会

VOL.13 1999

Guidelines for Applications

実施要綱

沖縄国際洋蘭博覧会実行委員会組織（委員名簿）

役 職	氏 名	所 属	役 職	氏 名	所 属
実行委員長	中山 晋	(財)海洋博覧会記念公園管理財団 理事長	委 員	大 場 勝	日本洋蘭農業協同組合 組合長
副委員長	宮 平 洋	沖縄県副知事（土木建築部担当副知事）	〃	新 垣 兼 一	沖縄県経済農業協同組合連合会 代表理事会長
副委員長	白波瀬正道	沖縄開発庁沖縄総合事務局次長（開発建設部担当次長）	〃	前 原 朝 信	(社)沖縄県造園建設業協会 会長
委 員	唐 澤 耕 司	理学博士	〃	上 間 良 廣	沖縄県花卉園芸農業協同組合 組合長
〃	橋 間 元 徳	沖縄開発庁沖縄総合事務局開発建設部長	〃	石 川 順 正	沖縄県蘭協会 会長
〃	平 野 昭	沖縄開発庁沖縄総合事務局農林水産部長	〃	普 天 間 宗 板	沖縄県草道連盟 会長
〃	大 城 喜 信	沖縄県農林水産部 部長	〃	嘉 陽 駿 子	(社)日本フラワーデザイナー協会 沖縄県支部長
〃	久 場 勝 治	沖縄県商工労働部 観光リゾート局長	〃	比 嘉 聡	(社)日本生花通信配達協会 沖縄地区幹事
〃	上 原 幸 一	沖縄県土木建築部 部長	〃	赤 嶺 繁	(財)海洋博覧会記念公園管理財団 常務理事
〃	安 室 肇	沖縄県教育委員会 教育長	事務局長	小宮山 義彦	(財)海洋博覧会記念公園管理財団 事務局長
〃	銘 苺 三 郎	(財)沖縄観光コンベンションビューロー 専務理事	事務局	新 里 隆 一	(財)海洋博覧会記念公園管理財団 植物課長

■実施団体■

1.主催

沖縄国際洋蘭博覧会実行委員会

2.共催

沖縄県、沖縄県教育委員会、(財)海洋博覧会記念公園管理財団、
沖縄県蘭協会、(財)沖縄観光コンベンションビューロー、沖縄
県経済農業協同組合連合会、沖縄県花卉園芸農業協同組合、
(社)沖縄県造園建設業協会、(社)日本フラワーデザイナー協会、
(社)日本生花通信配達協会、沖縄県草道連盟

3.後援

〈行政〉外務省、農林水産省、建設省、沖縄開発庁、文化庁

〈団体〉日本蘭協会、全日本蘭協会、日本洋蘭農業協同組合、
蘭友会、(社)日本造園建設業協会、(社)日本造園コンサルタンツ
協会、(財)日本花普及センター、(社)日本家庭園芸普及協会、(社)
日本植物園協会、沖縄県市長会、沖縄県町村会、沖縄県商工
会議所連合会、沖縄県商工会連合会、(社)沖縄県経営者協会、
沖縄県緑化種苗協同組合、沖縄県旅行業協会、(社)沖縄県バス
協会、(社)全国旅行業協会沖縄県支部、沖縄県ホテル旅館環境
衛生同業組合、(社)沖縄県タクシー協会、沖縄県個人タクシー
事業共同組合、那覇個人タクシー事業共同組合、(社)日本植物
協会

〈マスコミ〉NHK沖縄放送局、琉球放送(株)、沖縄テレビ放
送(株)、琉球朝日放送(株)、(株)ラジオ沖縄、(株)エフエム沖縄、沖
縄タイムス社、(株)琉球新報社、(株)日本放送出版協会、(有)沖縄
観光速報社、観光おきなわ新聞社、毎日新聞西部支社、産経
新聞那覇支局、共同通信社那覇支局、時事通信社那覇支局

4.特別協賛

全日本空輸(株)

■実施要領■

●一般公開／平成11年2月6日(土)～2月14日(日)までの9日間

●会 場／国営沖縄記念公園(海洋博覧会地区)熱帯ドリーム
センター

●審 査 会／平成11年2月5日(金)AM10:00～PM5:00

●審査規定／

①認定審査部門／一般に認定されていない新花を対象とし、あらか
じめ定められた評価基準により審査委員の持ち点の平均点で次の
各賞が認定されます。

- ◎FCC賞 90点以上
- ◎A M 賞 80点～89点以上
- ◎HCC賞 75点～79点以上

②コンクール審査部門／投票で選出された次の賞が認定されます。

- ※最優秀賞：出展された全ての洋蘭を対象とし、最も優れた作品
を選考する。選考は審査委員の投票によって決定する。
- ※優 秀 賞：鉢物審査、切花審査、ディスプレイ審査、フラワー
デザイン審査、外国出展審査のそれぞれを目的として出展され
た洋蘭又は作品を対象とし、各部門で最も優れた作品を選考する。
各賞は、審査委員の投票によって決定する。
- ※優 良 賞：優秀賞の選考基準に準ずる。
- ※奨 励 賞：優秀賞の選考基準に準ずる。

●表彰規定／

①認定審査部門

- ◎FCC賞 若干名……最高額200万円
- ◎A M 賞 若干名……最高額 70万円
- ◎HCC賞 若干名……最高額 30万円

②コンクール審査部門

- ※最優秀賞…(沖縄国際洋蘭博覧会大賞)……………1点100万円
- ※優秀賞・鉢物審査の部…(沖縄開発庁長官賞)……………1点50万円
- ・切花審査の部…(農林水産大臣賞)……………1点50万円
- ・ディスプレイ審査の部…(建設大臣賞)……………1点50万円
- ・フラワーデザイン審査の部…(文部大臣奨励賞)……………1点50万円
- ・外国出展審査の部…(外務大臣賞)……………1点50万円
- ※優良賞・鉢物審査の部…(沖縄総合事務局賞)……………1点30万円
- ・切花審査の部…(沖縄県知事賞)……………1点30万円
- ・ディスプレイ審査の部…(沖縄県知事賞)……………1点30万円
- ・フラワーデザイン審査の部…(日本フラワーデザイナー協会理事長賞)……………1点15万円
- (日本生花通信配達協会会長賞)……………1点15万円
- ・外国出展審査の部…(沖縄総合事務局賞)……………1点30万円
- ※奨励賞・若干名 (財)海洋博覧会記念公園管理財団理事長賞 (副賞、各スポンサー)

AWARDS



OKINAWA INTERNATIONAL ORCHID SHOW '99

沖縄国際洋蘭博覧会

CONTENTS

目次

挨拶.....	2
---------	---

沖縄国際洋蘭博覧会実行委員会

委員長 中山 晋

Greetings

Chairman of Okinawa International Orchid Show Committee,

Mr. Susumu Nakayama

平成10年度入賞作品 AWARDS'99

●コンクール審査部門/Competition.....	3
●認定審査部門/Certification.....	14
●審査員名簿/List of Judges.....	18
●スナップ/Snaps.....	19
●記念品と受賞皿について/Souvenirs.....	25
●ランに関する講演/ Lecture on the Circumstances of Orchids.....	26
●出展者紹介/Participation.....	28
●熱帯ドリームセンターのご紹介/ Tropical Dream Center Information.....	30
●協賛団体紹介/Introduction of Sponsors.....	32



Greetings

挨拶



沖縄国際洋蘭博覧会実行委員会

委員長 中山 晋

Chairman of Okinawa International Orchid Show Committee.
Mr. SUSUMU NAKAYAMA

「沖縄国際洋蘭博覧会 '99」の開催に際しましては、多数の出展並びに、絶大なるご支援、ご協力を賜り誠にありがとうございました。おかげをもちまして、本洋蘭博覧会は盛況裏に終了することができました。

国営沖縄記念公園、熱帯ドリームセンターの開園を機に開催された本洋蘭博覧会も今回で第13回目を迎えることができ、更に、出展内容も今まで以上に充実した成果を挙げることができましたことに対し、厚くお礼申し上げます。

また、国内外の洋蘭専門家を招いての講演会では、多数の参加者による活発なご意見、ご質問があり、本洋蘭博覧会の目的である「情報交換、技術の普及・向上」等の事業が少なからず達成できたものと思います。

出展においては、本県はもとより国内からは25都道府県、そして外国からは東南アジア地域を中心に、特に今回はフィリピン、シンガポール、タイ、マレーシア、インドネシア、台湾等からも参加があり、また出展内容も外国からの出展数が多くなる等、これまでにない成果を挙げることができました。

幸い、本県は洋蘭の栽培には気候的な条件等にも恵まれ、今日では我国の洋蘭生産の拠点となりつつあります。それを背景に開催される意義は大きく、これからの国内外の洋蘭情報発信地となるばかりではなく、洋蘭を通した国際社会の形成と本県の観光並びに花卉園芸の普及、さらには都市緑化にも大きく貢献していくことと思います。

次回、第14回目を迎える本洋蘭博覧会では、これまでの実績と新たな目標に向かって努力する所存でありますので、愛好者並びに生産者におかれましては尚一層のご研鑽をご期待申し上げますと同時に、今後とも皆様方のご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

平成11年2月28日

I would like to take this opportunity to express my deepest gratitude to all exhibitors to the "Okinawa International Orchid Show '99" and to all those who have so generously provided their assistance and cooperation with the presentation of this event, thereby making it such a notable success.

The "Okinawa International Orchid Show" was first held to mark the opening of the Tropical Dream Center at the Okinawa Commemorative National Government Park. This year's show is especially significant in that it marks the 13th of the event. This year's show is on a higher level than ever before, and I would like to thank everyone who has contributed to this.

Lectures given by renowned experts from throughout Japan and abroad feature a lively repartee of questions and opinions. Such occasions lead in sure, steady steps, to the goals of our orchid exhibits: information exchange and progress and dissemination of technical expertise.

Exhibitors this year have come from Okinawa Prefecture itself, from a further 25 Japanese prefectures, and from Southeast Asia, notably from the Philippines, Singapore and Malaysia. As befits such a commemorative event, the exhibits have been of unprecedented quantity and quality.

Okinawa is fortunate in possessing a climate ideally suited to the cultivation of orchids; the prefecture is currently in the process of becoming the main center of orchids production in Japan. These circumstances clearly enhance the significance of this event. I believe that Okinawa will become a focal point for the generation of information on orchid production both inside and outside Japan. I also hope that orchids will serve as the medium where by Okinawa can make an important contribution to international society, tourism within the prefecture, to the diffusion of horticulture, and by extension to the promotion of greenery in the urban environment.

We intend to build on our past achievements and to aim toward the realization of new objectives at the 14th "Okinawa International Orchid Show" to be held next year. In the meantime, I would like to ask both producers and lovers of orchids to raise their standards to yet higher levels. May I also ask you for your continuing support and cooperation with this event.

February 28, 1999

コンクール審査部門
Competition

Grand Champion

沖縄国際洋蘭博覧会大賞



Brassolaeliocattleya Triumphant Coronation 'maruga' AM/JOS

長束恵美子 / Ms. Emiko Nagatsuka
大阪府（堺市）



入賞の連絡をいただいた時、一瞬、「えっ本当ですか」と言ったり、後は声が止まってしまいました。「おめでとうございます」と言って頂きやっと本当だとわかり、胸がジーンと熱くなりました。5、6年前日本蘭協会よりの審査員として蘭展に出席させて頂き、その時より一度出品させて頂きたいと思っておりましたが、昨年やっと一株だけ出品させて頂きました。

今年は天候のせいか、一月に全然咲かず、一月の末頃より次々と咲き出し、やっと大株3株を出品させて頂く事が出来ました。大株なのでうまく送れるだろうかと心配しましたが、痛まずきれいに運んで頂きました。

これも一重に事務局の方々の細かいお心配り及び運送会社の方々の丁寧な輸送をしていただいたお陰と感謝致しております。蘭の会の方や、その他受賞を知った方々に「おめでとう」「おめでとう」と声をかけて頂いたりFAXが届いたりと幸せ一ぱいの思いです。

これからも又、美しい蘭を咲かせて、沖縄蘭展にも又出品させて頂きたいと思います。皆様ありがとうございました。

コンクール審査部門
Competition
Potted Plant
鉢物審査の部

優秀賞／沖縄開発庁長官賞

PRIZE : Director of Okinawa Development Agency



Phragmipedium caudatum 'HIYOSIMARU'



守本日吉/Mr.Hiyoshi Morimoto
兵庫県（神戸市）

このような大賞を頂き、大感激致しております。電話を頂いた時はびっくり、喜び勇んで沖縄へ行かせていただきました。見事に手入れの行き届いた公園、沖縄らしさが随所に見られました。出展しました蘭の管理の良さも大満足でした。神戸蘭友会の会員達も一層努力致しまして、素晴らしい蘭を出展いたします。

優良賞／沖縄総合事務局長賞

PRIZE : Director of Okinawa General Bureau



Paphiopedilum Lebeau 'Ten'
赤井三夫／Mr.Mitsuo Akai 東京都(台東区)

奨励賞／
海洋博覧会記念公園管
理財団理事長賞



Paphiopedilum Supersuk 'Green's'
金沢均／Mr.Hitoshi Kanazawa



Paphiopedilum rothschildianum '琉球'
上地幸三郎／Mr.Kozaburo Uechi



Dendrobium miyakei
石川清治／Mr.Kiyoharu Ishikawa



Vanda Doctor Anek 'SAYAKA'
Mrs.JANYA NAKAZAWA



Paphiopedilum wardii 'Emerald
Beach'
落合功／Mr.Isao Ochiai



Dendrobium New Guinea
太田政志／Mr.Masashi Oota



Wilsonara Tropical Shower 'Carnival'
フロンティアオーキッズ／Frontia
Orchids



Paphiopedilum spicerianum X Paphiopedilum
Hamana Spice 'Nishizu'
らんの里沖縄/Rannosato Okinawa



Dendrobium New Guinea
上地幸三郎／Mr.Kozaburo Uechi



Doritaenopsis Queen Beer 'Red
Sky'
平安山良勝／Mr.Yoshikatsu Herzan

コンクール審査部門
Competition
Cut Flower
切花審査の部

優秀賞／農林水産大臣賞

PRIZE : Minister of Agriculture, Forestry and Fisheries



Dendrobium Casa Blanca



宮城浩三／Mr. Hiromitsu Miyagi

沖縄県（大里村）

ラン（デンファレ）は夏場の花なので2月は量が少ないです。話を聞くと今までに受賞した方々はほとんどの方が暖房をたいているようですが、自分は暖房なしで、思ってもいなかった受賞ができとても喜んでいます。今まで頑張ってきたかいがあり、これらの仕事の励みにもなっています。

優良賞／沖縄県知事賞

PRIZE : Governor of Okinawa Prefecture



Dendrobium Waipahu 長嶺由守／Mr.Yoshimori Nagamine 住 所 沖縄県（具志川市）

奨励賞／海洋博覧会記念公園管理財団理事長賞



エピデンドラム（品種名ファンシーブルー）
徳田米蔵／Mr.Yonezo Tokuda



Brassocattleya Pastoral 'Innocense'
BM/JOGA
嶺井行吉／Mr.Yukiyoshi Minei



デンファレ（品種名レモンブーケ）
徳田米蔵／Mr.Yonezo Tokuda



Dendrobium Sakura
新垣尚子／Ms.Syouko Arakaki



Onc.サマータイム
前原信俊／Mr.Nobutoshi Maehara

コンクール審査部門
Competition
Display
ディスプレイ審査の部

優秀賞／建設大臣賞

PRIZE : Minister of Construction



テーマ／「年輪」

(資)美樹園

代表者：知念孝俊／Mr. Takatoshi Chinen
沖縄県（名護市）

過去3回の建設大臣賞をたてにしながら、作品から何を示すべきかと、大臣賞の重さを感じました。過去の受賞を年輪として、今回はテーマを設定しました。

また、次の機会には、大臣賞にはじないようにテーマ、作品づくりに一層の努力をしたいと思います。
期間中の管理保全には力を入れました。

優良賞／沖縄県知事賞

PRIZE : Governor of Okinawa Prefecture



テーマ／「共生の美」「清流の眺め」 県立南部農林高等学校 園芸デザイン科

奨励賞／海洋博覧会記念公園管理財団理事長賞



テーマ／「ゆめシャトル21」
県立北部農林高等学校 園芸工学科



テーマ／「あなたへのメッセージ」
県立中部農林高等学校 園芸科



テーマ／「春一番」
(有)前原造園土木



テーマ／「森の小怪」
沖縄園芸株式会社

コンクール審査部門
Competition

Flower Design

フラワーデザイン審査の部

優秀賞／文部大臣奨励賞

PRIZE : Minister of Education



テーマ／「出会い」

本部みさ子／Ms.Misako Motobu

沖縄県（浦添市）

数ある作品の中から選ばれてとてもとても光栄です。
“シンプルイズベスト”を信条としてこれからもお花本来の美を追求していきたいと思ってます。

優良賞／(社)日本フラワーデザイナー協会理事長賞

PRIZE : Chairman of directors, Nippon Flower Designers Association



岸本セツ子／Ms. Setsuko Kishimoto

優良賞／(社)日本生花通信配達協会会長賞

PRIZE : President of Japan Florists Telegraph Delivery Association



テーマ／「みせられて」
金城真理子／Ms. Mariko Kinjo

奨励賞／海洋博覧会記念公園管理財団理事長賞



テーマ／「帰郷」
阿波根昌一／Mr. Syouti Ahagon



テーマ／「ブナガヤ(樹の精)サ
ミット」
翁長幸子／Ms. Sathiko Onaga



テーマ／「舞結」
末吉葉平／Mr. Narihira Sueyoshi



テーマ／「蘇生」
比嘉秀夫／Mr. Hideo Higa



新垣美和／Ms. Miwa Shingaki

コンクール審査部門
Competition

Foreign Countries

外国出展審査の部

優秀賞／外務大臣賞

PRIZE : Minister of Foreign Affairs



Pot. Haw yuan Gold '0-2'

長青蘭園／ORCHIS FLORICULTURING INC.

台湾

昨年に続き外務大臣賞を受賞してうれしいです。これからもが
んばって種苗改良と新品種研究をしたいと思います。

優良賞／沖縄総合事務局長賞

PRIZE : Director of Okinawa General Bureau



Mokara Five Friendships Fullmoon 'YELLOW'

Mr.Rapee Sagarik タイ国

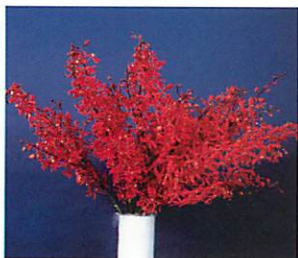
奨励賞／海洋博覧会記念公園管理財団理事長賞



Vanda Pat Delight 'k2'
Kasem Boonchoo
タイ国



Brassolaelocattleya Chia Lin 'Baa Ching-Tiar'
長青蘭園／Orchis Floriculturing Inc.
台湾



Renanopsis Lena Rowold X Ascocenda Yip Sum Wah
東京ガスグループアジアティック・グリーンテック(株)
マレーシア



Renanstylis Queen Emma
Preecha Techachareonsukchila
タイ国

認定審査部門
Certification



Paphiopedilum rothschildianum '琉球'
上地幸三郎 / Mr.Kozaburo Uechi



Paphiopedilum Supersuk 'Green's'
金沢均 / Mr.Hitoshi Kanazawa



Paphiopedilum Lebeau 'Ten'
赤井三夫 / Mr.Mitsuo Akai



Paphiopedilum Gold Nugget 'Domestic'
大場和夫 / Mr.Kazuo Ooba



Paphiopedilum spicerianum x *Paphiopedilum Hamana*
Spice 'Nishizu' (有)らんの里沖縄



Paphiopedilum White Knight 'Noriko'
名徳倫明 / Mr.Michiaki Myotoku



Paphiopedilum Treevill Winston 'Eagle'
上地幸三郎 / Mr.Kozaburo Uechi



Brassolaeliocattleya Pastel Pageant 'Seto'
新居義久 / Mr.Yoshinisa Arai



Paphiopedilum Magic Lantern 'Pink Panther'
(有)らんの里沖縄



Paphiopedilum Warden 'Tokie'
齋藤雅徳/Mr.Masanori Saito



Paphiopedilum Maudiae 'Vi-Black Revolution'
大場蘭園



Paphiopedilum wardii 'Emerald Beach'
落合功/Mr.Isao Ochiai



BIC Gold Digger 'Orchidy ades Mandarin'
(株)東京オーキッドナーセリー



Cattleya walkeriana 'Kenny'
新居義久/Mr.Yoshihisa Arai



Paphiopedilum Keyesphere 'Bunkyo'
黒澤敏行/Mr.Toshiyuki Kurosawa

認定審査部門 Certification



Phragmipedium Andean Fire 'Morning Glow'
黒澤敏行 / Mr. Toshiyuki Kurosawa



Paphiopedilum Pebblepath 'Usuki'
杉野満男 / Mr. Mitsuo Sugino



Cattleya lueddemanniana 'Maki'
新居義久 / Mr. Yoshihisa Arai



Phragmipedium lindenyanum 'Gieneyriei' PC/JOS
守本佳子 / Ms. Yoshiko Mimoto



Paphiopedilum Faire-Maud 'Y.Nishimura'
西村義満 / Mr. Yoshimitsu Nishimura



Brassolaeliocattleya Dream Paradise 'Z-995'
照屋清健 / Mr. Seiken Teruya



Cattleya walkeriana x sblig 'Tomiko'
塩飽洋太郎 / Mr. Youtaro Shiwaku



Potinara Kozo's Scarlet 'Vi-Emi'
伊佐英仁 / Mr.Eizin Isa



Paphiopedilum Great World 'BIG WORLD'
上地幸三郎 / Mr.Kozaburo Uechi



Paphiopedilum Joyce Hasegawa 'Pink Mystery'
田辺豊茂 / Mr.Toyoshige Tanabe



Vanda Doctor Anek 'SAYAKA'
Mrs.JANYA NAKAZAWA (ジャンヤナカザワ)



Vanda Robert's Delight 'Suanchareon Preecha'
Mrs.Kamolthip Techachareonsukchila



Phalaenopsis Ever-spring King 'King Dragon'
平安山良勝 / Mr.Yoshikatsu Henzan



Wilsonara Tropical Shower 'Carnival'
フロンティアオーキッズ

審査委員部門

List of Judges

審査委員長 Chairman of Judges

大場 勝 日本洋蘭農業協同組合組合長（相模洋蘭取締役）

審査委員 Judges

Ms. Iderlina U. Alvarez	ダバオ蘭協会会長
陳 石舜	台北蘭協会会長
Dr. Rapee Sagarik	タイ国蘭協会会長
Mr. Tawee Tapingkae	タイ国チェンマイ蘭協会会長
Mr. Syed Yusof Alsagoff	東南アジア蘭協会会長
Mr. Lim Mok Hai	マレーシア蘭協会会長
Mr. Sutikno Linuhung	インドネシア蘭協会会長
唐澤 耕司	ラン研究家理学博士
上里 健次	琉球大学農学部生物生産学科助教授
大田 孝治	日本蘭協会副会長
橋本 利太	日本蘭協会審査委員長
高山 健	全日本蘭協会副会長
黒澤 敏行	全日本蘭協会副会長
高橋 靖昌	日本洋蘭農業協同組合副組合長
神谷 茂	日本洋蘭農業協同組合理事 正審査員
山谷 渉	蘭友会副会長
赤井 三夫	蘭友会副会長
小倉 乙男	(社) 日本造園建設業協会事務局長
杉尾伸太郎	(社) 日本造園コンサルタンツ協会会長
和田 晃一	(社) 日本フラワーデザイナー協会専務理事
佐藤 勉	(社) 日本生花通信配達協会副会長
石川 順正	沖縄県蘭協会会長
福地 恒夫	沖縄県蘭協会副会長
徳本 行雄	沖縄県蘭協会・審査委員
仲宗根裕正	北部らん友会副会長
伊禮 輝夫	沖縄県経済農業協同組合連合会園芸部花卉課課長
園田 茂行	沖縄県花卉園芸農業協同組合営農指導部長
新垣 善孝	沖縄県緑化種苗協同組合理事長
前原 朝信	(社) 沖縄県造園建設業協会会長
上原 安子	(社) 沖縄県婦人連合会理事南部地区婦連会長
和字慶朝健	沖縄県立芸術大学教授
小宮山載彦	(財) 海洋博覧会記念公園管理財団事務局長
花城 良廣	(財) 海洋博覧会記念公園管理財団都市緑化植物園園長

SNAPS

審査会 (Judging)
表賞式 (Official Commendation)



大賞受賞者への表彰



審査風景



審査風景



懇親会会場



表彰式会場

SNAPS

一般公開

(Open to the General)



ディスプレイ展示会場



フラワーデザイン（総合デザイン）展示会場



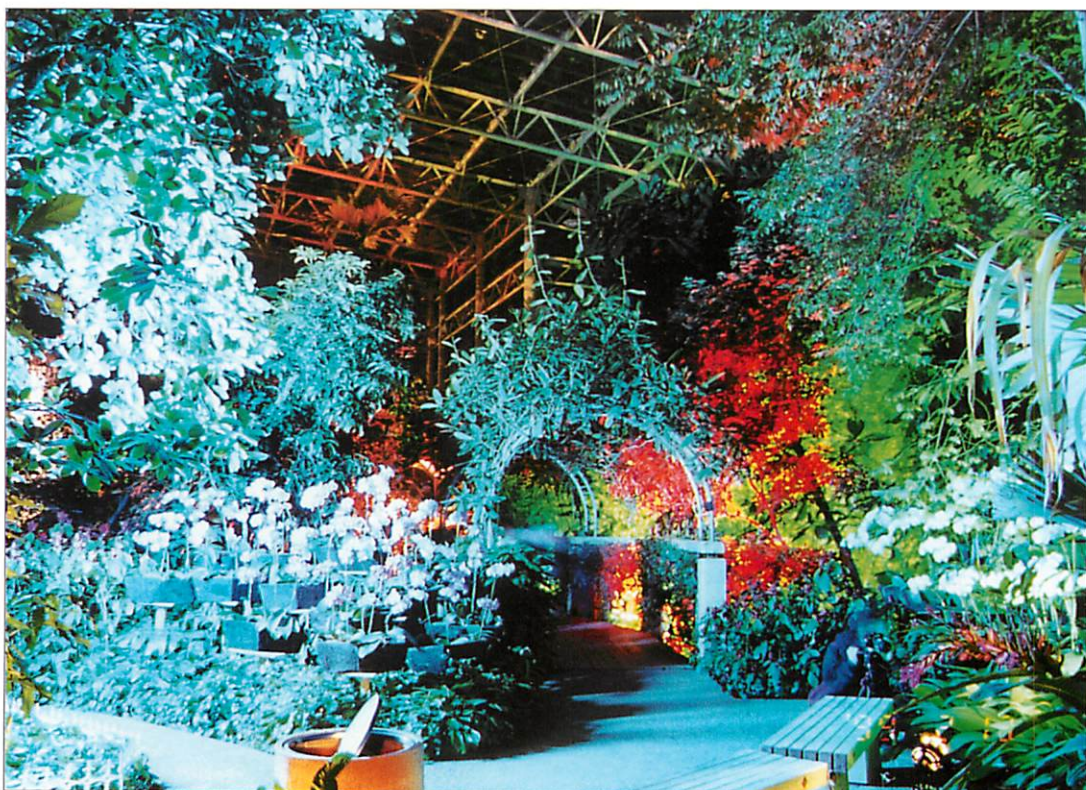
フラワーデザイン（ニューブーケ）展示会場



3つの大温室は出展ランでいっぱい



大賞及び大臣賞展示状況



開催中の2日間に限り実施した夜間開園。温室内ではライトアップも行なわれた

SNAPS

各種イベント紹介



ガーデンコンサート



オーキッドブライダル



夜香る蘭の展示会場

洋ランプレゼントクイズ



世界の珍しいラン展。今回はフィリピンに自生するランを展示



ランの栽培相談コーナー



展示即売会

SNAPS

いけばな展

沖縄県華道連盟の協力を得て10流派による蘭を活けるいけばな展を開催。

期間：平成11年2月11日（木）～14日（日）



一葉式いけばな
崎間溪翠（芙美子）
比嘉葉泉（享子）
仲村石泉（ヤス子）
渡慶次賀泉（須賀子）
山川泉要（京子）
又吉恵泉（恵美子）
古堅敦泉（敦子）



古流松藤会
潮平理保（保子）
仲本理美保（美保子）
真境名理智（美智子）



桜花遠州流
金城和文（文子）
比嘉文艶（艶子）
西銘文恵（恵子）



嵯峨御流
桑江聖甫（泰子）
新垣幸甫（幸枝）
具志堅節甫（節子）
謝花トキ甫（トキ子）
比嘉康甫（康江）
内間美代甫（美代子）
佐久川苗甫（苗子）



小原流
高江洲豊栄（良枝）
崎山翠洋（洋子）
山城豊恵（八重）
具志堅陽苑（マサ子）
新城桜翠（明美）
諸喜田由翠（由美）
屋嘉比律翠（律子）



專正池坊
照屋雅幸（雅二）
東風平恵邨（須恵子）
仲里代節（匡代）
當真秋月（秋子）
金城紅柳（節子）
玉城文操（文乃）
崎浜和仙（和美）



華道家元池坊
仲本尚子
仲本興太郎
安慶名工リ子
新里美那子
宮城和子
呉屋園子
宮城春江



草月流
赤嶺羊染（克絵）
大城楓菖（昌子）
照屋柳恵（千恵子）
山川螢畔（富士子）
下地香千（恒子）
山川葉千（恒子）
新里久子



華道草真流
平良覺泡（勝子）
平良覺泉（奈奈）
神村峰昭（佳代子）



龍生派
仲程房華（房子）
大城代華（加代子）
新城百華（百合子）
仲宗根澄華（澄子）
東恩納宗陽（美枝子）
清水宗翠（しげみ）
玉城陽風（美香）

記念品と受賞皿について

受賞皿



壺屋焼

起源は、15世紀まで遡りますが、産地形成がなされたのは17世紀頃です。その技術は諸外国との交流の中で高められ、多様な形や彩色の技法を習得し独自の技法を確立したのです。現在でも沖縄の家庭において使用されているほか、日本はもちろんアメリカなどにも輸出されています。



又吉常敏 (吉 陶房 主宰)

author : Tsunetoshi Matayoshi

- 昭和32年11月 沖縄県中頭郡北中城字島袋に生まれる。
- 昭和51年3月 沖縄県立中部工業高校電子科卒業。
- 昭和58年～ 壺屋焼陶工 上江洲茂生に師事する。
- 平成6年10月 壺屋焼窯元「茂生窯」において掻き落とし、指掻き、線彫、飛びかな、盛りつけ等の壺屋焼（通産大臣指定伝統的工芸品）の技法を習得する。
- この間、沖縄・陶器の部において4回の入選を果たす。
- 平成6年11月 独立。読谷村字上地に築窯、「吉陶房」と命名し、作陶を開始する。
- 平成8年9月 現代沖縄陶芸展・課題作品の部において奨励賞受賞。
- 平成9年11月 沖縄県工芸公募展において佳作及び入選。
- 平成10年2月 沖縄国際洋蘭博覧会における大賞、優秀賞、優良賞の受賞記念となる「掻き落とし胡蝶欄文皿」を作陶。

記念品



琉球びんがた

びんがたは、古くは琉球王朝時代に婦人の礼装、神事の服装などとして摺り込みの手法で染められたことがその起源であるといわれています。その後14～15世紀に東南アジア各国との交流の中で染色の技術を学びとり、現代までその技法が伝えられたものです。

図柄は、絵画のように立体的な図案の構成の中に四季の風物を融合させたものです。びんがたは、沖縄の長い歴史と風土にはぐくまれた世界に誇る染物です。



知念績元 (知念びんがた工房 代表者)

author : Sekigen Chinen

- 1942年 那覇市に生まれる。
- 小さい頃より家業の琉球びんがたを手伝い15歳で型彫り、色差しを許される。
- 1980年 県産業まつりにて最優秀賞受賞。
- 1990年 ハワイ移民90周年記念事業の一環としてハワイで実演と指導を行う。
- 〃 年 県産業まつりにて最優秀賞受賞。
- 1991年 伝統工芸品産業振興会より琉球びんがた（総合）伝統工芸士として認定。
- 〃 年 那覇市制施行70周年記念特別表彰。
- 琉球びんがたの製作、指導で活躍すると同時に琉球びんがた事業共同組合の副理事長も努める。
- 1992年 安谷屋正量賞受賞。
- 1997年 沖縄県指定無形文化財技能保持者（琉球びんがた）として認定。

LECTURE

各種イベント紹介

ランに関する講演会

(Lecture on the Circumstances of Orchids)



「沖縄のラン栽培の問題点」
The Circumstances of Orchids Cultivation
in Okinawa Today

山口 行孝 Yukitaka Yamaguchi
(有) らんの里沖縄 取締役総務部長

らんの里沖縄の前身であります堂々島洋らんセンターは今から18年ほど前にここ沖縄にて洋蘭栽培をはじめた。当時内地に住むわれわれにとって沖縄の気候についてはただ単純に温かい場所だということ、台風の多い場所、また周りが海に囲まれているために塩による色々な害があるのではないかといった認識であった。実際に栽培をはじめると色々な問題が出てきた。

沖縄は「日照時間は少ないが日射量自体は変わらない」といえる。晴れた日に遮光の標準をあわせると曇った日には不足してしまう、また逆の場合は晴れた日に少々問題は起こるが現状は曇っている時に合わせて遮光を考えて行っている。

沖縄は基本的には亜熱帯である。そのため、熱帯地方に産する蘭にとっては気温がやや低い、また熱帯高地の品種にとっては先にも述べたようにどちらかといえば暑い傾向にある。

台風といえば沖縄、沖縄といえば台風というぐらい、沖縄には台風が良く近づく。その対策としては、台風にも負けない丈夫なハウスを作る。または発想の転換で台風時期より前に収穫ができる種類の栽培、もしくは栽培技術で開花期を早め製品の台風被害を少なくする。離島である沖縄は、全てのものに対して流通経費がかかってくる。従って同じものを使う場合でも割高になるケースが多い。

蘭栽培は施設園芸、沖縄の気候は変えられないが施設内部の環境はこの沖縄の気候条件をよく理解した上で各自の努力により良好な環境に近づけられるはずだ。またこの気候条件に合った種類の選択、栽培方法、まだまだ解決しなければならない宿題は多く残っている。

気候など色々な諸条件は沖縄での営利栽培においては良い条件であるとは言えない。しかしこれは、営利栽培といった観点で見た場合であって、個人が蘭を趣味的に作っていく場合は、一部の蘭を除きまことに都合が良い場所だと言える。というのも内地のように温室を作らなくても庭先で簡単に蘭を育てることが可能で、これが一般化すると沖縄のいたる所で蘭の花を見ることができ、これは、観光経済がかなりの割合を占める沖縄にとってかなりのプラス要因となる。

最後に、ここにお集まりの方々に申し上げたいのは、一般の方々が気軽に蘭の花を作ることができる情報を色々な機会を設けて普及して行くことは現在蘭を手がけているわれわれに与えられた使命ではないだろうかということだ。蘭という植物は非常に神秘的な植物。蘭でこの沖縄がいっぱいになるこんな夢のあることを考えながら蘭栽培を続けて行きたいと思う。

Our organization is called "Ran No Sato Okinawa". We started our initially as "Dogashima Orchid Center" that was about 18 years ago. We started here in Okinawa. We knew at the time that Okinawa was probably warm place to live, would be suitable for orchids growing. We also knew it had a lot of typhoons. We also knew that it was surrounded by ocean and so that we were probably have some damages from salt occurring in the winds. We did not know very much about Okinawa that how we started out. But we saw much more obstacles we experienced a lot more difficulties as we grew orchids in Okinawa. These are the things we would like to share with you today.

In winter time Okinawa has very short day light hours but it is

the mean we do not get enough amount of sun lay during the winter month. Problem is if we provide enough shade to that would be enough for sunny day. We actually provide too much shade that don't provide enough sun light on the cloudy. What we actually do in our farms is that we focus in the days that is cloudy. And we provide enough shade to we focus basically is providing enough sun light for cloudy.

Because we are in the subtropical zone for orchid that grow in prosper in the tropical zone, Okinawa's temperature is little bit too low. On the other hand, for the types of species that are found in the high mountain ranges are Okinawa is little bit too warm.

The other major problem we face is typhoons. So some of the idea that we had was to create green houses that are strong enough to strong winds of typhoon. The other idea we had was develops certain types of orchids that we can harvest before the typhoon seasons so that we would not effect by the wind. We also follow about how to make the flowers bloom early in the year so that it would not have to wait for the typhoon season.

Okinawa is small island very isolated island therefore to distribute a good cost transportation cost. If you want to use anything same as mainland Japan in cost a little bit more because of the transportation cost.

Orchid growing in the Okinawa would basically growing in green house facilities of course we can not change the climate of Okinawa. But we could understand the features of Okinawa climate, then we can better make a green houses so that we could control the temperature and climate in side the green house to better suite are orchids. We can also select find certain species that good or suitable for growing in a Okinawa. We can also look for better cultivation method that suit species these are not things we have completely resolved yet. So this is a home work that we would have to complete in the coming years.

In terms of climate, You have seen that orchid growing for commercial purposes is not very favorable. You must remember that I am talking commercial cultivation of orchids. When individual would like to grow orchid for just as hobby at home is very good place to do this. They can grow their orchid right in the back yard. My hope is that people of Okinawa would all learn to grow orchids in back yard. So that people can see all orchids all over Okinawa. As you know tourism is major industry in the Okinawa. We'll be able to have Okinawa full of orchid, it is something that would attract to tourist to Okinawa.

The message I would like to convey all of you today I think is the mission as orchids growers people something to do with orchids to a propagate the important appreciation for orchids to the people who live here. So they would be interesting growing orchid right in their back yard. I feel that an orchid is very mystical plant and I'm hoping it is my dream that Okinawa was some day be full of orchids. Every one thank you very much for you attendance.



「タイ北部の野生ランについて」

Tawee Tapingkae (タウィ・タピンカー)

タイ・チェンマイ蘭協会会長

Thailand is gifted with a varied ecological condition which support highly diversified plant populations. Among these, orchid is the most precious gift and we call it Queen of the Forest in Northern Thailand. Today I would like to give a short account of orchids of Northern Thailand and the atmosphere governing the conservation of the wild orchids in Northern Thailand. I will also give a short account of wild orchid species seen in Northern Thailand, as to talk about Thai orchid species and hybrids as a whole would be too wide a subject.

I think one should first know something about the geographical features of an area to get a better idea of orchid species in that particular area. There are high mountain ranges running from north to south in Northern Thailand and the wide valleys along the tributary form the large lowland agricultural land. Three of the four main rivers which form Chao Phraya River originate from Northern Thailand, so that the forested mountains of Northern Thailand is the watershed of these three important rivers. The elevation is about 200 meters to 1600 meters and the average temperature is 25 degree Celsius ranging from 3 degree to 41 degree Celsius. The climate of Thailand is influenced by the monsoon winds. During November to February the cold and dry wind of the northeast monsoon blows from Mainland China giving a pleasant dry and cool season. The highly humid southwest

monsoon wind blows from the Indian Ocean from May to November creating an abundance of rainfall throughout the country. Out of 76 Provinces in the country, 17 Provinces form Northern Thailand.

The main occupation of the people in Northern Thailand is agriculture and many are engaged in agriculture connected industries, the so-called agro-industries. Many are also engaged in tourism and the related industries such as handicrafts. At present, semi-mechanized agricultural system is practiced in many places, however, a trend of reversion to traditional practice of agriculture is seen, due to the people's consciousness of the negative impacts of market oriented modern monocultural practice of agriculture.

In 1991 the Royal Forest Department recorded a total of 1101 naturally grown orchid species in 140 Genera. Out of these, 673 species (more than 50 percent) are found in the two phyto-geographical regions of Northern Thailand. Due to deforestation in recent years, many orchid species are endangered. Slash, burn and shifting cultivation practice of many mountain people in Northern Thailand has caused enormous loss of numerous wild epiphytic and terrestrial orchids grown in the dense forests which are cleared year by year. This situation is being corrected by the efforts of the numerous King's Projects. However the sad cases of thousands of wild orchids being sold along the railway and the highway between Lampang and Chiangmai Provinces are still quite common. Millions of bees, butterflies and useful insects which play the most important pollinators of wild orchids also die every year due to pesticides resulting in retardation of the spread of wild orchids. There are few orchid and butterfly farms in Chiangmai try to propagate wild orchids and to promote the love of these important insects. However, they can hardly achieve their goals as the media gives a negative image of the orchid and butterfly farms resulting in a negative impact in promotion of the people's interest in the beauty and the importance of the propagation of wild orchids and butterflies. They are being misunderstood as a business that exploits the nature only, overlooking the conservation aspects of the farms. Despite such obstacles, Chiangmai orchid Society is exerting its utmost efforts to build up the local people's interest in conservation and

multiplication of the wild orchid species and hybridization. We are very lucky to have seen a bright future of the orchids in Northern Thailand as the orchid shows in recent years have created an increasing popularity of orchids and many private sectors as well as government horticultural garden have taken interest to preserve the existing species and perform hybridization. The private orchid business in Northern Thailand, however, is still a family type. We still have a long way to establish joint ventures with foreign investors. I want to share the pleasure of receiving the interest of our royal family in orchids and other flora. The establishment of the Queen Sirikit Botanic Garden in Maerim District of Chiangmai Province and the Doi Tung Reforestation Project in Chiangmai Province brought the most important impact amongst the people to realize the importance of the Plant Genetic Resources and ecological recovery. We are also very proud of Her Majesty the Queen's patronage of our Chiangmai Orchid Society

For orchid lovers who wish to admire the beauties of the blooming orchids of Northern Thailand, I would like to recommend the visit during

November to May. In this period the weather is dry and pleasant for hiking and you can see about 77 species of 18 Genera blooming gorgeously in the forest of Northern Thailand.

Although Thailand lies in the tropics, many species that inhabit mountain areas of Northern Thailand cannot be treated as warm temperature orchids. These orchids grow on the mountain where the night temperature drops as low as 10 degrees Celsius even in the summer and about 3 degrees Celsius in the cold season. I would, therefore, like to recommend some 16 species of the wild orchid species of Northern Thailand as suitable for growing in Okinawa. I will give a list of them.

1. *Dendrobium acinaciforme*
2. *Dendrobium compactum*
3. *Dendrobium gratiosissimum*
4. *Dendrobium devonianum*
5. *Dendrobium capillipes*
6. *Dendrobium falconeri*
7. *Dendrobium bellatulum*
8. *Dendrobium gibsoniana*
9. *Dendrobium alterum*
10. *Dendrobium wardianum*
11. *Vanda coerulea*
12. *Vanda denisoniana*
13. *Paphiopedilum villosum*
14. *Bulbophyllum dixonii*
15. *Bulbophyllum pectinatum*, and
16. *Bulbophyllum lemniscatum*

These species grow on the mountains of Northern Thailand between 800 to 1600 meters above sea level. I hope you will be interested in the wild orchid species of Northern Thailand and in joining us in the development of its conservation and propagation. Thank you very much.

タイの生態環境は変化に富み、そのため植物相も非常に多様である。中でもランは「森の女王」と呼ばれ、珍重されている。以下、タイ北部に生息するランと、野生ラン保全の取り組みについて紹介する。

タイ北部は山脈が南北に連なり、その支脈沿いの平野は広大な農地を形成している。森林に覆われた山々は、チャオプラヤ川の主な水源地である。高度は200から1600メートル。気温は摂氏3度から41度、平均25度である。モンスーン気候で、11月から2月は乾季、5月から11月は雨季となる。タイ北部の主な産業は農業である。現在は半機械化されたところが多いが、一部では、市場主義的な単一栽培農法がもたらす悪影響を懸念し、伝統的な農法に戻る傾向も見られる。

1991年の記録によると、タイに自生するランは140属1101種に及び、そのうち673種がタイ北部に分布している。しかし近年の森林伐採により、多くの種は絶滅の危機に瀕している。また焼き畑農法によって密林が年々減少し、多数の野生ラン、地生ランが失われている。

王室はこうした状況を改善するため、さまざまなプロジェクトを進めているが、障害は未だ多い。受粉に必要な昆虫も殺虫剤の使用で年々個体数が減少し、野生ランの繁殖を阻んでいる。チェンマイにはラン農園や蝶園があり、野生ランと昆虫の繁殖促進と一般市民の意識向上にむけて尽力しているが、「自然を食糧にしたビジネス」とマスコミから批判され、その保全における役割は見逃されがちである。

チェンマイ蘭協会は、地元の人々に野生ランの保全と繁殖、及び交配に興味を持ってもらうと様々な取り組みを行っている。近年はラン博覧会を通してランの人気の高まることにも、民間企業も公立の園芸農園も現存種の保存と新種の交配に関心を示しており、タイ北部のランにも明るい兆しが見えてきた。しかしタイ北部のランビジネスはまだ家内工業が主で、海外投資家とのジョイントベンチャーを確立するまでの道は遠い。チェンマイ州マエリムのクイーンシルキット植物園の設立や、ドイトゥン植林プロジェクトは、植物の持つ遺伝子資源と生態系回復機能の大切さを人々に認識させる重要な役割を果たした。またチェンマイ蘭協会は女王の厚い支持を受けている。

タイ北部のランの花を見るには11月から5月の乾季が最適である。森をハイキングすると、18属7種のランが森の中で豊かに咲き誇っているのが見られる。

タイは熱帯地域だが、北部の山間部では夏でも夜間の気温が摂氏10度、冬には約3度まで下がる。そのためタイ北部の野生ランのうち、高度800から1600メートルで繁殖する下記の16種は沖縄での栽培にも適している。

1. *Dendrobium acinaciforme*
2. *Dendrobium compactum*
3. *Dendrobium gratiosissimum*
4. *Dendrobium devonianum*
5. *Dendrobium capillipes*
6. *Dendrobium falconeri*
7. *Dendrobium bellatulum*
8. *Dendrobium gibsoniana*
9. *Dendrobium alterum*
10. *Dendrobium wardianum*
11. *Vanda coerulea*
12. *Vanda denisoniana*
13. *Paphiopedilum villosum*
14. *Bulbophyllum dixonii*
15. *Bulbophyllum pectinatum*
16. *Bulbophyllum lemniscatum*

皆様がタイ北部の野生ランに関心を持ち、その保全と繁殖にご参加くださることを願っております。

Participation

出展者紹介

鉢物・切花・外国出展審査

【北海道】
三ツ村 豊

【埼玉県】
(株)神谷洋蘭園

【東京都】
(株)大場蘭園
三好勝彦
(株)東京オーキッドナー
セリー
高山 健
赤井三夫
山崎光子
黒澤敏行

【神奈川県】
大津豊隆
高橋眞澄
石川晴夫
中島文子
久保田志津枝
金沢 均
石渡弘司
落合 功
重田裕充
重田悦子
吉田雅子
稲嶺盛昭
永井 清
村上 旭

【石川県】
指江正敏

【長野県】
佐藤博康
池田俊作

【静岡県】
ハナジマオーキッド(株)

【愛知県】
フロンティアオーキッズ
フラワードーム'99 実
行委員会
ランの館

【滋賀県】
久保田貞雄

【京都府】
澤井公和

吉岡重子

【大阪府】
長東恵美子
名徳倫明

【兵庫県】
守本日吉
守本佳子
藤井秀明
牧田夏雄
松原陽子
原田英美
横島文子
川上大誠
黒岡康男
堀川吉彦

【奈良県】
辻 勲

【和歌山県】
瀬戸内海洋蘭園

【鳥取県】
永見玄行

【岡山県】
塩飽洋太郎
倉橋定男
太田牧志
藤 広治
大森寶太
光岡秀範

【広島県】
木村琢壯
広島市植物公園
川上千寿子
福井中庸
柳本 昇

【山口県】
西村隆行
井上圭子
池田力太
田中 彰
松村さよみ
中村隆治
桜谷孝子
山本利満
福谷郁子
藤井妙子

小林英美
高橋茂美
岩本秀夫
齋藤孝子

【徳島県】
(株)河野メリクロン

【香川県】
新居義久
大場和夫
三好加代
佐野春雄

【愛媛県】
松井 博

【福岡県】
平野和子
政住 光
犬飼 基
齋藤雅徳
戸島 智
野中福次
小田豊明
伊藤清水
西村義満
本田裕之
高橋 淳

【大分県】
杉野満男
安長蘭園
安長茂子
峰 卓郎
峰 ハマ子
後藤睦子
後藤真弓
前田巳喜雄
三河マサ子
草野主博
永浴安彦
田辺豊茂

【鹿児島県】
保坂トシエ
林 哲夫

【沖縄県】
宮里徳正
宮里春美
宮城喜盛
具志堅敏子

瑞慶覧朝一
瑞慶覧みどり
瑞慶覧朝樹
仲真米子
富本裕英
宮城裕明
宮城トミ子
兼島芳数
兼島彩香
仲里マサ子
棚原由美子
村吉誠徳
川島 勲
嶺井行吉
嶺井テツ子
新里邦子
古謝 望
古謝瑞枝
新垣勝信
新垣尚子
新垣 久
安慶名春雄
上運天 清
(株)沖縄蘭研
名嘉真 勉
名嘉真宜弘
名嘉真宜英
名嘉真 文
栄野比 博
栄野比常子
徳田米蔵
具志堅栄真
奥間政正
比屋根 正
比屋根優希
仲宗根 稔
長嶺由守
久田友福
山田義治
当間 守
屋宜宣武
金城弘子
(有)仲里園芸
新垣洋蘭園
新垣園子
山城喜光
山城和子
山城一也
仲宗根秀祐
仲宗根政子
久保田由美子
我謝英次
新里昌重

宮良博文
川満久子
下地豊一
平地正三
宮良祐次
粟盛邦彦
(有)らんの里 沖縄
城間恵子
城間正守
瑞慶覧 優
宮城浩三
K. オーキッド
山内 力
照屋清健
照屋利美子
岳原宜正
岳原春子
渡嘉敷通晃
小緑茂雄
松永裕子
大城栄治
国吉真一
嘉味元一男
上地幸三郎
上地淳志
石川順正
石川洋子
徳本行雄
嶋袋正弘

川平昌彦
饒平名知育
饒平名かおり
大宜味洋文
宮城恒政
大城一義
高安純一
新垣雄文
翁長武弘
大城政行
大城洋子
新垣善一郎
伊佐英仁
伊佐マリ子
安里 弘
新垣善一
比嘉盛幸
伊佐信榮
喜納宗一
喜納昌久
玉城昌伸
仲宗根秀光
仲宗根正昇
当銘直一
喜納政輝
前原信俊
沖縄熱帯植物管理(株)
石川清治
平安山良勝

山川宗賢
又吉政秀
園田美穂子
内原英吉
宮城幸榮
玉城詠光
玉城栄子
玉城 一
知念英子
安里良弘
安里恵子

【インドネシア】
Sutikno Linuhung

【シンガポール】
Syed Yusof Alsagoff

【タイ】
Suwanna Techachareo-
nsukchila
Suwannee Techachareo-
onsukchila
Preecha Techachareo-
sukchila
Kamoltip Techachareo-
nsukchila
Rapee Sagarik
S.Orchids Service-Co.,Ltd.

Viboon Orchids
Ancharee Techachareo-
nsukchila
Pairat Techachareo-
nsukchila
Chutarat Techachareo-
nsukchila
Preecha Nursery
Siam Flower 1985 Co.,-
LTD.
Janya Nakazawa
Kazuko Ijiri
Kasem Boonchoo

【フィリピン】
Iderlina U. Alvarez

【マレーシア】
Green Tech Tokyo
Lim Mok-Hai

【台湾】
S.S.Chen
台北市蘭協会
Chin-Wen Wong
Tien-Huang, Chin
Keng-Tong, Yang
Min-Shing, Lin
Chen-Heng, Chou

ディスプレイ審査

沖縄県立中部農林高等学校
園芸科
沖縄県立南部農林高等学校
園芸デザイン科
沖縄県立北部農林高等学校
園芸工学科
沖縄熱帯植物管理(株)

沖縄全日空リゾート(株)万座
ビーチホテル
(株)グリーン開発
(株)サン緑化
(株)琉商造園土木
(資)沖縄庭芸
(資)美樹園

(有)らんの里 沖縄
(有)嘉手納造園土木
(有)宮里農園
(有)西原農園
(有)前原造園土木
(有)仲本造園土木
(株)仲嶺造園土木

伊良波造園土木
沖縄園芸(株)
(株)グリーンテックトータル
(株)電発環境緑化センター
沖縄営業所

フラワーデザイン審査

喜舎場幸乃
飯室宏治
仲間政子
嘉陽 緑
内間江利子
嘉陽ひとみ
儀保美佐子
平良千鶴子
本部みさ子
新垣美和
新川栄子
仲西乙子
宮城大志
翁長幸子
有銘 進
洲鎌広明
平良栄子
比嘉春恵
阿波根昌一
積 茂樹

知花エイ子
新垣和子
大城利重子
金城周一
外間末美
仲村和子
金城真理子
比嘉千恵美
村吉しのぶ
池原由紀子
松田まり子
比嘉 健
平安山 保
國吉真理
岸本セツ子
山里勝子
知念美智子
宇良辰子
金城新治
上原都子

玉城美雪
上里 瞳
佐喜真ゆかり
上原佳奈子
与那覇安子
玉城洋子
玉那覇優子
山城美恵子
喜友名朝子
伊佐睦子
新垣弘美
三倉厚子
城間利恵
城間俊彰
比嘉秀夫
徳嶺晶子
林 綾乃
与那覇 厚
末吉業平
仲宗根綾子

又吉シゲ子
崎山圭三
山田千夏
瑞慶山秀雄
具志堅千恵子
新垣勤子
上原直美
呉屋静香
大城多賀子
赤嶺礼子
沖縄県立南部農林高等学校
園芸デザイン科
桃原栄子
垣花寿子
金城スミ子
米須真由美
山城孝子
伊藤由里

熱帯ドリームセンターのご紹介

沖縄国際洋蘭博覧会の会場となる熱帯ドリームセンターは、1,700種のラン類をはじめ、世界各地の珍しい熱帯植物を集めたドリームゾーンです。直径20mのステンドホールをぬけるとそこは夢空間。色鮮やかなラン温室や、あまい香りの果樹温室、バザールも楽しめる回廊や、沖縄の海が一望できる遠見台…ほかにも憩のひとときをお届けするビクトリア温室や中庭など施設は充実。

さあ、花と夢にあふれた探検旅行をご体験ください。

観覧のご案内

Visitor's Guide

熱帯ドリームセンターは、テーマごとに14のゾーンにわかれています。センター内には、ゾーンを番号で示したサインを各所に設けておりますので地図とあわせてご覧ください。

The Tropical Dream Center is sectioned into 14 different zones, each with its own separate theme. Each zone has its own number posted: please refer to your pamphlet during your tour.

14 東南アジアゾーン Southeast Asia Zone

ゴールデンシャワーなど美しい花々を集めました。

Holds beautiful examples of Golden Showers and other SE Asian flora.

13 ロータスpond Lotus Pond

ニッパヤシが群生するスイレン池でちょっと休憩を...

Under the Nipa Palm, let the lotus carry you away.

12 ビクトリア温室 Victoria Greenhouse

水生・湿地植物が鑑賞できる涼しげなスポットです。

Water plants and flora requiring humidity are shown in this cool spot.



1 ステンドホール Hall of Stained Glass



天井のステンドグラスが魅惑の世界へと導きます。

The stained glass ceiling will guide you into a world of enchantment.

2 クロトンパティオ Croton Pictus Patio



中世の貴族的な雰囲気を感じます中庭です。

The inner courtyard garden has a medieval aristocratic motif.

3 ファレノプシス温室 Phalaenopsis Greenhouse

蝶のような大きな花のファレノプシスをご覧ください。

The Phalaenopsis has great blossoms which look like butterflies.

4 バンダ温室 Vanda Greenhouse

樹木に付着して生育する。バンダ属のランを一堂に。

Vanda orchids grow up tree trunks. All the Vanda varieties are presented in this one hall.

5 カトレア温室 Cattleya Greenhouse

美しく咲き誇るカトレアをご堪能ください。

Please enjoy the beautifully blooming Cattleya orchids.

Tropical Dream Center Information

Beginning with the 2,000 orchids of 1,700 varieties, the Tropical Dream Zone has gathered rare and unusual flora from throughout the world for your pleasure. What awaits you beyond the 20 meter long Hall of Stained Glass is a world of dreams and natural beauty. The delicate colors in the Orchid Greenhouse and the sweet fragrances of the fruit tree orchard, a bazaar in the connecting corridor, and the beautiful colors of Okinawa's oceans seen from the Observatory, the rare cool beauties of the Victoria Greenhouse and the inner garden...all are there for you. Come with this pamphlet in hand to start your journey of experiencing new beauties.

11 中南米ゾーン
Central & South America Zone

ナツメヤシの木陰でリゾート気分をご満喫ください。
Under the Date Palmtree, you will find a resort atmosphere.

10 ビデオホール・遠見台
Video Hall, Observatory

地上36mの遠見台の2階は美しい映像コーナーです。
The 2nd floor of the Observatory, which rises 36 meters high, holds some lovely visual presentations.



■ラン温室



■果樹温室

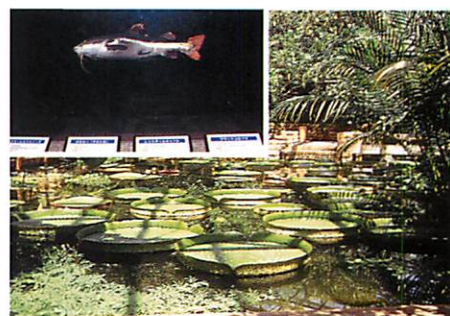


9 展示室
Exhibition Room

地元の展示会や、質問コーナーなどの情報スペース。
Exhibitions of local items and a Q&A corner for further information.

8 ラン展示室
Orchid Greenhouse

心地よい空間で優良品質のランをご鑑賞ください。
The highest quality and rare orchids shown against a perfect background.



■ビクトリア温室

6 果樹温室
Fruit Tree Orchard

パラミツ、ドリアンなど珍しい果樹を間近に。
Rare fruit trees such as the Jack and Durian are exhibited.

7 回廊・アフリカゾーン
African Zone and Gallery

涼風が吹きぬける回廊はサバンナのイメージです。
A cool breeze blows through the corridor with its images of the Savannah.



■ビデオホール

Introduction of Sponsors

協賛団体紹介

協賛協力

(順不同)

●協賛

ANA 全日空
日本航空(株)
(株)日本エアシステム
日本トランスオーシャン航空(株)
CHINA AIRLINES 沖縄支店
日本蘭協会
全日本蘭協会
蘭友会
日本洋蘭農業協同組合
(社)日本造園建設業協会
(社)日本造園コンサルタンツ協会
沖縄県緑化種苗協同組合
(社)沖縄県造園建設業協会
沖縄県経済農業協同組合連合会
沖縄県花卉園芸農業協同組合
(有)らんの里 沖縄
ハナジマオーキッド(株)
東京オーキッドナーセリー
国際園芸(株)
北部らん友会

●協賛金

(有)本部石油商会
(株)総合管理産業
(株)加島事務機
(株)琉球銀行
(株)沖縄銀行

(株)沖縄海邦銀行
(社)沖縄建設弘済会
(株)りゅうせき
沖縄富士フィルム販売株式会社
沖縄明治乳業(株)
沖縄コカ・コーラボトリング(株)
(資)本部清掃
(株)沖縄環境開発センター
(有)沖縄エービーサービス
沖縄電力(株)
大栄空輸(株)
沖縄全日空リゾート(株)
琉球セメント(株)
オリオンビール(株)
(株)サン緑化
本部造園株式会社
(株)桃原農園
沖縄熱帯植物管理(株)
(有)北部園芸
(資)美樹園
(株)琉商造園土木
(有)嘉手納造園土木
(有)宮里農園
(有)巴恵造園土木
(有)赤嶺総合造園
(有)東緑化開発
(有)紫光園
(有)仲嶺造園土木
北部造園土木(株)
(有)樹苑
(有)前原造園土木
(株)グリーン開発

(資)沖縄庭芸
(株)沖縄緑花開発センター
沖縄園芸(株)
(株)南西造園土木
(有)庭樹園
(有)仲本造園土木
(有)丸喜庭園
ナカンス興業(株)
(有)蓬来造園
(株)平成造園
(有)大球造園土木
本部グリーンパークホテル
県緑化推進委員会
NECシステム建設
(株)沖縄日立
金秀建設(株)
(株)屋部土建
(株)アラカキ建設
南西電設(株)
ダイヤトピー農芸(株)
(株)渡嘉敷組
(資)山仁組
全勝組
鏡波建設工業
琉宮城
沖縄フルーツランド
ウォーターリリー
(有)西原農園
(有)久田緑化造園
(株)沖縄緑建
(株)富士植木
グローバル企画印刷(株)

沖縄国際洋蘭博覧会'99

■出展者数・出展ラン及び展示総数■

	鉢物審査の部		切花審査の部		外国出展審査の部				ディスプレイ審査の部		フラワーデザイン審査の部						総 合 計			
					鉢物		切花				総合デザイン		アレンジメント		ニューブーケ					
	出展者数 (人)	出展数 (株)	出展者数 (人)	出展数 (10本1組 (本)	出展者数 (人)	出展数 (株)	出展者数 (人)	出展数 (10本1組 (本)	出 展 団体数	出展内容 鉢物 (株)	出展内容 切花 (本)	出展者数 (人)	出展点数 (切花) (本)	出展者数 (人)	出展点数 (切花) (本)	出展者数 (人)	出展点数 (切花) (本)	出展者数 (人)	鉢物 (株)	切花 (本)
外 国 (6カ国 1地域)	—	—	—	—	25	1,778	6	1,290	—	—	—	—	—	—	—	—	—	31	1,778	1,290
県 外 (25都府県)	92	347	1	10	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	93	347	10
県 内 26市町村	139	492	37	480	—	—	—	—	21	1,995	462	17	767	36	956	32	474	282	2,487	3,139
合 計	231	839	38	490	25	1,778	6	1,290	21	1,995	462	17	767	36	956	32	474	406	4,612	4,439
公園展示 ラン合計																			2,347	—
展示総数																			6,959	4,439
																			11,398	



いい仕事で、お迎えします。

一期一会。ひとつひとつの出逢いを、どこまで大切にできるか。
それは私たちのサービスの原点です。
たった一度きりかもしれない、お客様との出逢い。
あなたの空の旅を、より満足できるものに、より楽しめるものに。
私たちは、つねに信頼のサービスで、
あなたの気持ちに応えたい、と考えています。
もっと、いろんなあなたに選ばれるエアラインであるために。
私たち全日空はいつも、お客様を、いい仕事でお迎えいたします。

ANA 全日空

ご予約・お問い合わせは 国内線 フリーダイヤル ☎ 0120-029-222
国際線 フリーダイヤル ☎ 0120-029-333

または、お近くの全日空代理店まで。



地域とともに、地域のために

沖縄電力

〒901-2602 沖縄県浦添市牧港五丁目2番1号
TEL 098-877-2341(代表)

郷土の資源で



郷土をつくる

琉球セメント株式会社

ふれあい、いきいき。

Orion

MEIJI

県民の健康と生活文化の創造に貢献する

沖縄明治乳業株式会社

〒901-2502 浦添市牧港1-65-1 TEL098-877-5274



沖縄 コカ・コーラ ボトリング 株式会社
OKINAWA COCA-COLA BOTTLING CO., LTD. (コカ・コーラ指定会社)



沖縄国際洋蘭博覧会実行委員会

〒905-0206 沖縄県本部町字石川424番地